

2.21
4.21
邸

河川浄化活動を紹介

大淀川環境大学に30人

都 城

河川浄化活動などに携わる人材育成を目的とした大淀川

環境大学(都城大淀川サミット主催)は、都城市の都城浄化センター清流館で17、18日あった。市内や三股町内で河川の環境保全活動を行っているグループから約30人が参加し、大淀川の河川環境や水質改善プロジェクトなどについて理解を深めた。

県内外から6人の講師を招待。同サミットの委下信芳会長は、都城圏域で本年度新たに発足した4団体を含む10団体のホタルの保護、河川のク

リーン作戦などの活動内容を紹介した。



新年度からは教育現場でも河川浄化活動を広げていく予定で、「皆で地域の活動を盛り上げていきましょう」と呼び掛けた。また都城淡水漁協の祝田穂専務理事は近くの沖水川で伝統的な漁を実演。今

では少なくなった投げ網のほか、木の枝を川に沈めてすみついたウナギやコイなどを網で捕る「柴(しば)漬け漁」を紹介した。

横市地区まちづくり協議会の坂元三郎事務局長は「河

川浄化の関心を少しずつ高めるために、ほかの団体とも連携していきたい」と話していた。

伝統漁法の実演もあった大淀川環境大学